

(別紙様式2)

令和元年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名： 岩手県
農業委員会名： 釜石市農業委員会

I 農業委員会の状況(平成31年3月1日現在)

1 農業の概要

単位:ha

	田	畑			計
		普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	184	576			760
経営耕地面積	60	634	501	4	694
遊休農地面積	4	6			10
農地台帳面積	194	1,040	434		1,234

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
- ※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	333
自給的農家数	192
販売農家数	141
主業農家数	19
準主業農家数	29
副業的農家数	93

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	213
女性	112
40代以下	16

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	28
基本構想水準到達者	1
認定新規就農者	1
農業参入法人	2
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員				合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	
農業委員数							
認定農業者	—						
女性	—						
40代以下	—						

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 3 1 年 3 月 3 1 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	10	10
認定農業者	—	7
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	2
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	5	5	5

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	760ha	39.5ha	5.20%
課 題	山間地帯という地理的条件に加え圃場が小規模なため、規模拡大を目指す農家がない状況にある。農家の所得向上に結び付く収益性の高い作物の普及など、集約的経営の確立が課題である。 農業者の高齢化と担い手不足による耕作放棄地を解消するため、作業受託組織の体制強化が必要である。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 平成31年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
50.2ha	41.7ha	0.0ha	83.00%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農支援(釜石・大槌地域農業振興協議会との連携) ・マスタープラン見直しに向けた集落座談会への参加) ・利用状況調査・意向調査結果を踏まえた中間管理事業の推進
活動実績	2.1.19 新規就農相談会(釜石・大槌地域農業振興協議会との連携) 1.6.20、11.20 農地利用最適化推進活動検討会 1.8.7、9.4、11.6 マスタープラン加速化推進チーム会議 2.1.14 マスタープラン推進会議、1.8.21、8.22 マスタープラン地区推進班意見交換会 1.11.15、11.29、12.4、2.1.30、1.31 マスタープラン地区推進班説明会 1.12.13、12.16、12.17、12.18 マスタープラン集落座談会 2.2.27 マスタープラン検討会 1.10.7~8、10.10~10.11 利用状況調査

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	新規利用集積はゼロであった。担い手の経営情報と出し手の情報収集が必要である。
活動に対する評価	マスタープランの見直しと、次年度の中間管理事業実施に向けた協議が進んだ。(震災復旧農地)

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	28年度新規参入者数	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	0経営体
	28年度新規参入者が取得した農地面積	29年度新規参入者が取得した農地面積	30年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	0ha
課題	兼業化が進み、農業に新規に取り組む者がいない状況である。農業経営で生活可能な経営方法の確立が課題		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 平成31年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
1経営体	0経営体	0%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
1ha	0ha	0%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	1月 新規就農相談会(釜石・大槌地域農業振興協議会との連携) 6月 マスタープラン見直しに向けた集落座談会への参画
活動実績	2.1.19 新規就農相談会(釜石・大槌地域農業振興協議会との連携) 1.12.13、12.16～12.18 マスタープラン集落座談会(下荒川、栗林、甲子、橋野)

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	4名の相談があり、農業制度等について助言した。
活動に対する評価	農業経営で生活できるレベルの営農類型の確立が求められるが、圃場条件や鳥獣被害対策など多くの課題があり、新規参入が難しい現状がある。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	770ha	10ha	1.30%
課 題	農業者の高齢化や担い手や後継者不足が課題である。遊休農地の状況を調査し、解消活動につなげる。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成31年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
18ha	0.0ha	0.00%

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	農地の利用状況調査	18人	8月～9月	10月～11月	
		調査方法	荒廃農地の発生・解消状況調査と併せ利用状況調査を実施する。 (農業委員・最適化推進委員、市担当課と連携して実施)		
	農地の利用意向調査	調査実施時期:10月～11月			
その他の活動	農業委員・農地利用最適化推進委員の日常の巡視活動				
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		15人	10月～11月	11月～12月	
	農地の利用意向調査	調査実施時期	11月～12月	調査結果取りまとめ時期	11月～12月
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条	
		調査数:	0筆	調査数:	0筆
		調査面積:	0ha	調査面積:	0ha
その他の活動	農業委員・農地利用最適化推進委員の日常の巡視活動				

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	中間管理事業との効果的連携を図るべき。
活動に対する評価	借り手希望者がいないため解消に結びつかない。このため、農業委員会で遊休農地へのカボチャ栽培を行い、遊休農地活用をアピールする活動を展開した。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	760ha	0ha
課 題	東日本大震災の復興工事に伴う一時転用案件の適正管理が課題である。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 平成31年度実績

実 績①	増減(B-①)
0ha	0ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	農地パトロールの実施による取り締まり強化を図るとともに、農地転用制度の周知に努める。
活動実績	10/7～8、10/10～10/11 農地パトロールの実施(利用状況調査) 随時 農業委員・最適化推進委員の巡視活動
活動に対する評価	活動が図られた。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 1件、うち許可 1件及び不許可 0件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	書類審査、現地調査の実施			
	是正措置	なし			
総会等での審議	実施状況	総会審議			
	是正措置	なし			
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	0件		
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0件		
	是正措置	なし			
審議結果等の公表	実施状況	ホームページ			
	是正措置	なし			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 15日	処理期間(平均)	15日
	是正措置	なし			

2 農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）

(1年間の処理件数: 17件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	書類審査、現地調査			
	是正措置	なし			
総会等での審議	実施状況	総会審議			
	是正措置	なし			
審議結果等の公表	実施状況	ホームページ			
	是正措置	なし			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 35日	処理期間(平均)	35日
	是正措置				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況		
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数		1 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数		0 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数		0 法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数		0 法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人		0 法人
	提出しなかった理由	休業中	
	対応方針	解散に向けた手続きを検討する。	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数		0 法人
	対応状況		

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容			
貸借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象貸借借件数	1件	公表時期 令和元年8月
		情報の提供方法:		
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数	34件	取りまとめ時期 令和2年3月
		情報の提供方法: 農地の権利移動・借賃等調査		
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 ha	628	
		データ更新: 年1回(住基・固定資産データ)		
	公表: インターネット			
農地台帳の整備	是正措置	なし		

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	(要望・意見) (対処内容)
農地法等によりその権限に属された事務	(要望・意見) (対処内容)

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

事務局掲示

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数

0 件

提出先及び提出した意見の概要	なし
----------------	----

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

--